

# やまびこ

警察育英会々報

99  
Vol.



## 教えて！元気のヒミツ

「仕事も両立させた精神力と体力で冬季五輪初出場へ」

上田 絢加選手（スキーマ選手）

出かけてみよう！

楽しい社会科見学へ **GO!** 「サンシャイン水族館」



和風月名（日本で古くから使われていた月の呼び名）で、10月は「神無月」と言います。

古代では「な=の」であるため、「神な月」＝「神の月」と解釈されています。

農作物の収穫を神様に感謝する、大切な月であるとして、このように呼ばれるようになりました。

「神の月」なのに「神」が「無い」というのは、なんだか不思議ですね。

10月になると、日本全国の神様たちは一斉に島根県の「出雲大社」に集まり、

来年の気候や収穫、人々の運命や縁について話し合います。

そして神様がたくさん集まる出雲地方では、10月を「神在月（かみありつき）」と呼ぶそうです。

神様たちの宿泊所となる境内では、お祭りが行われます。

また「神送り」「神迎え」のお供えや、留守を守ってくれる「留守神様」のお祭りをする地域もあります。

「神様は出雲までどうやって行くんだろう」「1年ぶりに会ったら、神様同士で話も弾むだろうな」

そんなことを想像すると、神様が少し身近に感じられるかもしれませんね。

## やまびこ vol.99 CONTENTS

### 巻頭言

#### 1 未来に向かって、自分を「ひらく」

警察庁長官官房参事官 櫻井 美香

#### 2



特集 教えて!元気のヒミツ 「仕事も両立させた  
精神力と体力で  
冬季五輪初出場へ」

上田 絢加 選手（スキーマ選手）

#### 4

出かけてみよう! 楽しい社会科学見学へ GO!  
「サンシャイン水族館」



#### 6

みんなのお便り

#### 10

やまびこ会レポート

# 未来に向かって、自分を「ひらく」

警察庁長官官房参事官  
櫻井 美香

自身の危険を顧みず殉職・殉難された警察職員や市民の皆様、そしてそのご家族、ご遺族の皆様に対し、心から敬意を表します。

警察庁において皆様へのご支援等を担当する教養厚生課長に、本年3月に着任し、併せて奨学生選考委員会委員の委嘱をいただきました。本年10月から、長官官房参事官（教養・厚生担当）として引き続き、奨学生選考委員を務めさせていただきます。精一杯職責を果たしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

私の子供も奨学生の皆さんと同世代ですが、私自身が学生だったころに比べ、今は勉強方法も進路も多様なことに驚いています。私は地方在住だったため、大学受験の勉強は参考書と通信添削に頼っていましたが、

そこでいう「通信」はインターネットではなく郵便でした。月に何度か答案を郵送し、数週間後に郵送で回答と添削結果が返ってきてから復習する。今の皆さんには想像もつかないような超・スローペースですね。

今は、好きな時間に配信で講義動画を見ることができ、アプリ等では自分の理解度や進捗状況に合った問題が出され、即座に採点結果やアドバイスが表示されたりします。インターネットは、その弊害も色々と取り沙汰されますが、「学び」に関しては、場所にも時間にも人にも縛られない、開かれた「学びの場」を創り出すのに大きく貢献しました。

情報通信技術の普及・高度化とAIの発展に伴い、世の中で求められるものや職業自体も変化しています。こういう人であればこういう道には進めない、

といった枷もかなり減ってきたように思います。これまでにない仕事や生き方を自ら創り出し、社会をリードしている10代、20代も増えていきます。

「ひらく」には、沢山の漢字があります。「開く」は「閉じていたものがあくこと」（例…窓を開く）、「拓く」は「未開拓の土地や分野に手を加えること」（例…新たな道を拓く）、「啓く」は「教えひらき理解させること」（例…悟りを啓く）ことを指します。

奨学生の皆さんは、無限に広がる「学びの場」に飛び込み、そこで自分自身を「ひらく」ことで、未来そのものを変えていく力を得ることができると思います。私自身も、少しでもよりよいご支援ができるよう、ともに学び続けてまいります。



## 教えて！元気のツミツ

スカイランニングを知ったのは、友人の誘いで講習会に参加したことがきっかけ。「大学時代はウルトラマラソンをやっていたのですが、社会人になって精神的に参<sup>ま</sup>って中断してしまつて。でも、ちよつと走ってみたらすごくすつきりしたので、やっぱり必要だと思つて始めました」と言う。

それからは、週2回ほど自宅周辺のランニングなどに取り組んだ。そして講習会に参加して約10カ月がたった頃、香港で開かれたアジア選手権に出場し、3位を獲得。「同じ日に別の国で大きな大会があつて、有力選手はそつちに出場していたのでラッキーでした」と控えめだ。

3位になったことで、日本スカイランニング協会の強化選手に選ばれたが「どういう目標を設定すればいいか分かりませんでした」と振り返る。そう悩んでいた時、協会関係者から日本代表を目指すことを提案され、「私にできるのかと不安でしたが、挑戦しようと思ひました」と本気で取り組む

# 仕事も両立させた 精神力と体力で 冬季五輪初出場へ

ことを誓<sup>ちか</sup>つた。19年4月のことだった。

そう決めてからは、東京の会社で働きながらも練習量を増やした。月曜日から金曜日のうち、

## 上田 絢加 選手

スカイランニングは山を、スキーモ（正式にはスキーマウンテンアリング）は雪山を登り下りし、タイムを争<sup>きそ</sup>う競技だ。上田絢加選手は、仕事とスポーツを両立させた上で、この2つの競技の日本代表に選ばれた。そして今は五輪出場を狙っている。競技との出会いや五輪に対する思いなどを彼女に聞いた。



冬季以外はスカイランニングに取り組む。「短時間に山の景色をたくさん見られる」と魅力を語る



スキーモもスカイランニングも山で行う競技。山が好きなのは「生きてる感覚を味わえるから」と笑う



雪山に登り下りするスキーモ。大学時代に1年間、スキーに取り組んだ経験を生かしている



コースには、スキー板で登るエリアとスキー板を外して担いで登るエリア、スキーで滑るエリアがあり、脱着スキルもタイムに大きな影響を与える



コースには険しい傾斜が待ち構える。危険は伴うが、常に無事に下山することを意識しているため、大きなけがをしたことはないという

4日間は入社前の1時間、必ずランニングを行った。毎週金曜日になると、仕事終わりに電車で群馬の山に向かいトレランニングに専念。月曜日は群馬からの始発で、そのまま出勤した。この生活を約4年続けた。

ストイックな生活を続けられたのは、スポーツでの成功体験が少ないことが影響していたという。大学生まで水泳や陸上、スキーなどに一生懸命取り組んだが、どれも全国大会などには出場できなかった。だからこのチャンスをつかみ取らなきゃ、という感覚が強かったです」と打ち明ける。

スキーモが、26年にイタリアで開かれるミラノ・コルティナ冬季五輪の正式競技に採用されたからだ。スカイランニングの練習としてやっていたとはいえ、スキーモの日本選手権でも準優勝などに輝いており、日本代表として世界選手権への出場権を獲得していた。つまり、日の丸を背負って五輪に出られる可能性があった。

そのために海外遠征に行く必要があることを上司に伝え、翌年1月に約7年勤めた会社を退職した。宣言通り2月から海外に渡り、スペインで開かれた世界選手権を含む5大会に出場。世界三大会の一つピエラメンタ（フランス）では、日本人女性で初めて完走した。「表彰台に立つ選手の速さを体感できました。良い経験になりました」と収穫を得た様子だ。

「このチャンスを逃したら一生後悔すると思いました。ただ、会社勤めの生活スタイルでは難しいし、そもそも東京周辺に雪山という練習環境がなかったので目を背けました。でも、モヤモヤは止まりませんでした」

今は毎週通った群馬に移住、転職し練習に励んでいる。ミラノ・コルティナ冬季五輪は3年後。出場に向けて「アジア1位」という目標を立てている上田選手は「どうすれば強くなれるかを考えて、自然を愛する気持ちを持ちながら活動していきたいです」と意気込んでいた。



【プロフィール】

**上田 絢加** 選手  
(ウエダ アヤカ)

1993年2月10日生まれ。大阪府出身。2018年のスカイランニングアジア選手権3位。20年は日本選手権スカイの部で優勝。翌年はスカイランナージャパンシリーズで史上初、2種目で年間王者に。スキーモは22年に白馬八方スーパーパーティカルレースなど3大会を制覇。翌年はワールドカップシュラドミングで日本人選手初の準々決勝進出などを達成。中央カレッジグループ所属。



出かけてみよう!  
楽しい社会科見学へGO!



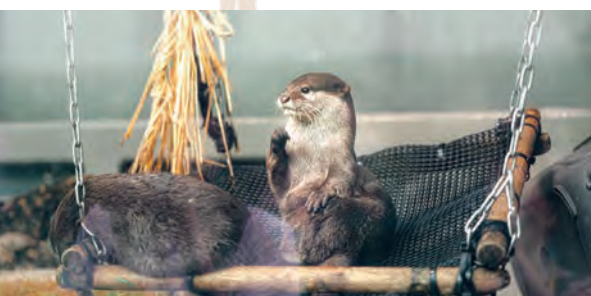
頭上を泳ぐペンギンの姿に圧倒される「天空のペンギン」



「大海の旅」エリアのエントランスを進むと「サンゴ礁の海」の水槽が広がる



ペンギンたちを至近距離で観察できる「草原のペンギン」



屋外の「天空の旅」エリア（マリンガーデン）で母と娘2頭で暮らすコツメカワウソたち

## 第21回 サンシャイン水族館

池袋のサンシャインシティ内、地上約40mのワールドインポートマートビルの屋上にある「サンシャイン水族館」（旧：サンシャイン国際水族館）は1978年に開業。日本初の屋上に誕生した水族館として注目を集めてきました。屋外エリアではアシカやペンギンなどが至近距離で、屋内エリアでは海や水辺に暮らす生きものたちの臨場感あふれる姿が楽しめます。

「『天空のオアシス』こと『サンシャイン水族館』。ユニークな展示やバックヤードに潜入できるツアーなど、見どころがたくさん！」

昭和の時代から池袋のランドマークとして知られる「サンシャインシティ」は商業施設をはじめ、ホテルや屋内型テーマパーク、劇場、博物館、イベントホールなどが集まり、にぎわいを創り出しています。今回訪れた「サンシャイン水族館」はそのサンシャインシティを形成する施設の1つです。

ビルの屋上にある受付から南国ムードが漂う通路を通り抜けると、そこは水と緑が豊かな屋外のマリンガーデン、「天空の旅」エリアが広がっています。ここで最初に出会える生

きものはアシカで、日本初となる、見上げる「ドーナツ

型の水槽「サンシャインアクアリング」内を一周する姿は迫力満点です。

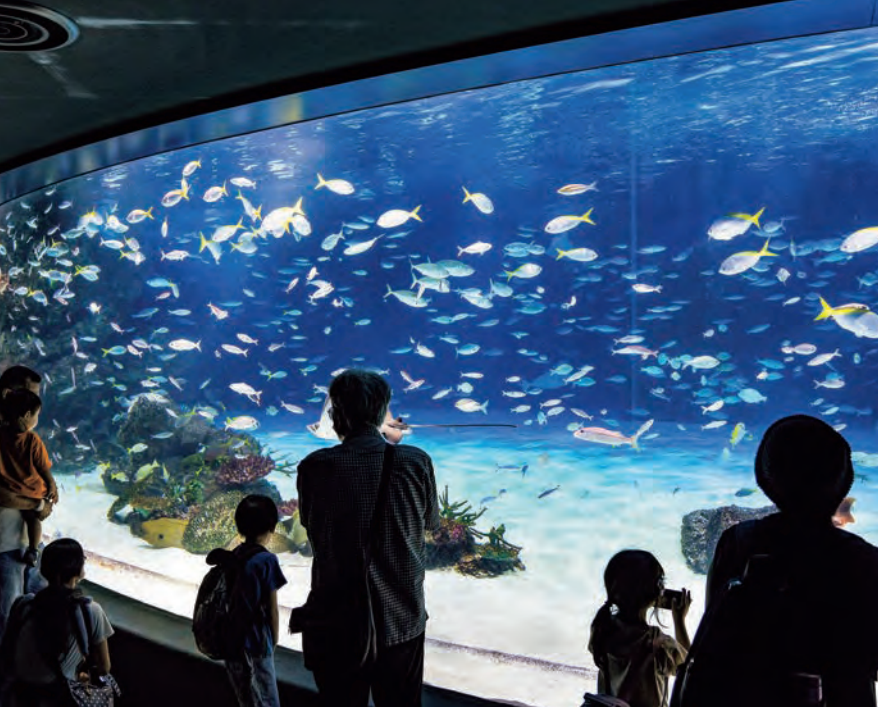
カメラのシャッターチャンスは今か今かとねらう人が後を絶たないのが

「天空のペンギン」。水槽の向こうに空や高層ビルがゆらゆらと映るファ

ンタジックな光景は屋上にある水族館ならではの、ケープペンギンたちが泳ぐ水槽を見上げた途端、数羽のペンギンが頭上を通過！純白のお腹やなめらかな遊泳に目を奪われ、感嘆の声を上げずにいられません。周囲の人たちもまるで空を飛ぶ様に泳ぐペンギンを見上げるなど減多にないからか、皆、眼を輝かせながら観察。泳ぐペンギンの隣には緑のある岩場があり、そこではヨチヨチと歩くペンギンたちに出会える「草原のペンギン」の水槽があります。

天空の旅エリアでは「キキキ」というかん高い鳴き声が愛らしい「コツメカワウソ」の展示も。カワウソの中でも最も小さく、指先に小さな爪があることからその名が付けられたコツメカワウソ。ここでは母親と2頭の娘が暮らしています。3頭がじゃれあっている姿が可愛くて、ずっと眺めていたくなりました。





南国の海を感じさせる、館内で一番大きな水槽「サンシャインラグーン」。探検ガイドツアーでは左の水槽を真上から見ることで、飼育スタッフが大きく見える水槽の秘密や水の容量について解説

館内1階「大海の旅」エリアのエントランスをくぐると目の前に広がるのは美しいサンゴが広がる水槽。サンシャイン水族館では2006年から沖縄県恩納村と一緒おんなそんにサンゴを守る活動を行い、ここで育てたサンゴを沖縄の海へ還してかえいるそうです。「サンゴ礁の海」の水槽では砂



「水辺の旅」エリアではバイカルアザラシ、カメ、カエルなどに会える



癒しを求める人は浮遊するクラゲがいっぱいの「海月空感」へ

から顔を出すチンアナゴやニシキアナゴのユーモラスな姿にも出会えます。このフロアには館内で一番大きな水槽「サンシャインラグーン」も。白い砂が敷かれた海底が南国の浅瀬を連想させます。数ある水族館のなかでも、底に白砂を敷き詰めた大型水槽を採用する所は希少だそう。この水槽では岩やサンゴのディスプレイの間を魚たちが群れをなして泳ぎ、大きなエイやトラフザメが優雅に行き交う姿をじっくり観察できるよう、ダイナミックな水槽の前にベンチが設置されています。



水槽に潜って仕事をする飼育スタッフの姿を見かけることもある

2020年にリニューアルオープンした「海月空感」は没入感に浸れるクラゲスポット。水槽のデザインや照明、音などの演出が見事で、クラゲ特有の浮遊感や幻想感を最大限に楽しめる空間となっています。館内2階に上がると、グリーンをあしらった照明ライトが天井に点在する「水辺の旅」エリアへ。ここではアマゾン川をはじめ、東南アジアやアフリカの水辺で暮らすアクアプランツ（水草）や生きものが大集合。その一角では淡水魚を飼育・展示しながら、水を循環させて野菜を水耕栽培する「アクアポニックス水槽」が設置されています。この水槽で栽培された野菜は館内で飼育される爬虫類のエサ等になるそう。また、このフロアで人気を集めるのは「湖にすむアザラシ」の水槽。のびやかに泳ぐバイカルアザラシと目が合うと心なこみます。

さて、この水族館をもっと深く知りたい人におすすめしたいのが「探検ガイドツアー」（1日2回、定員制、有料）。普段は入ることのできない水族館のバックヤードに潜入し、エサの作り方や水槽、生きものたちの治療や繁殖などについて知ることができます。解説を担当する飼育スタッフによって案内する内容や巡る場所が異なるので、リピーターも多いでしょう。興味のある方は参加してみたいかがでしょうか。

### サンシャイン水族館 について

- ◆所在地 東京都豊島区東池袋3丁目1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル 屋上
- ◆開館時間 春夏 9:30～21:00 秋冬 10:00～18:00  
※変動あり ※最終入場は終了1時間前
- ◆休館日 無休
- ◆入館料 大人（高校生以上）2,600～2,800円  
子ども（小・中学生）1,300～1,400円  
幼児（4才以上）800～900円 ※時期によりチケット料金が変動  
※事前予約（日時指定・日付指定）が必要な場合あり
- ◆ホームページ <https://sunshinecity.jp/aquarium/>
- ◆電話番号 03-3989-3466
- ◆アクセス 池袋駅（35番出口）より徒歩約10分、東池袋駅（東京メトロ有楽町線）より徒歩約5分、東池袋四丁目停留場（都電荒川線）より徒歩約6分





# みんなのお便り



『バタフライ』

『公園でしゃぼん玉をしているところ』



『上杉謙信』



## たのしかった東京

ぼくは、はじめてやまびこ会に  
さんかしました。東京にも、はじ  
めて行きました。

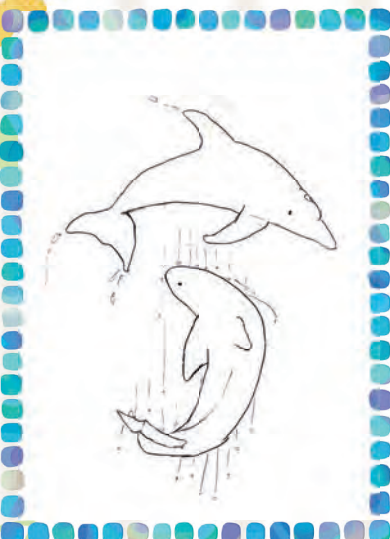
東京は、ビルがたくさんあって、  
ビックリしました。すごかったで  
す。水ぞく館に行きました。めず  
らしい魚がいっぱいいました。き  
れいでした。

2日目に、ディズニースーシーに、  
行きました。タワーオブ・テラー  
に、乗りました。こわかったです。  
もう二度と、乗りたくないです。

トイ・ストーリーマニアは、お  
もしろかったです。車のおもちゃ  
を買ってもらいました。

楽しかったです。

また行きたいです。



『ジャンプ』



『やまびこ会の思い出』



## ありがとう

初めて参加させていただいたのは娘が七歳の時でした。生まれて初めての娘との二人旅でした。心配性の私は東京まで行くことや二人で参加することへの不安でいつも頭の中はいっぱいだったことを今でも覚えてます。何度も連絡し旅行について尋ねたり不安を話したりお願い事をしたり今思い返しても育英会の皆さんは大変だったのではないかと思います。そんな私のことをサポートして下さいありがとうございます。その時のおかげで自信がつき娘と電車での二人旅や車でも遠出が出来るようになりました。

今回は二回目の参加で娘は十四歳になりました。新型コロナウイルスの蔓延による延期もあり待ちに待った旅行でした。中学生になった娘はぜひ頼りになり前回よりは不安もなく事前の連絡や旅のしおりなども安心して参加することができまし

た。娘には姉妹もいとこもないため、姉妹やいとこ達と遊びに行ったなど周りのお友達が話していたことを話してくれる娘の言葉から、うらやましく思っていることが伝わってきていました。また、お友達やそのご家族が家族ぐるみでお付き合いされているグループもいくつかあって、大勢で遊びに行った話などを聞いては、娘も一緒に参加して遊びたいなと言っていたこともあったので、やまびこ会の子ども達と一緒に旅行ができ本当に嬉しそうでした。このような素敵な機会を与えて下さりありがとうございます。私も二日間見学やお茶会、夕食会など本当に楽しかったです。特にお茶会で参加された皆さんとお話ができるように準備をして下さったおかげで参加された皆さんと言葉を交わすことができました。皆さんの今や思いなどを聞かせていただき私自身も夫のことで今まで話すことができなかつたことを話せて、やまびこ会の皆さんだから周りの人には言えなかつたことなど何も気にせず話し聞いたりできる、その時間がありがたく感謝しています。

育英会の皆さん、そしていつも気にかけて支えて下さっている皆さん、いつもありが

とうございます。今回の旅行についても新型コロナウイルスで何度も計画を立て直したり調整したり本当に大変であったと思います。この二日間のため計画から実施までそして二日間が終わった後もご多忙だったと思います。きめ細やかな対応と楽しく過ごせる為の準備やお心遣いをありがとうございます。素敵な思い出が作れました。



『ディズニー行ったよ』

～ iPad で作成した絵です！～



## 青空と笑顔と心の旅

この手紙が届く頃には、秋の気配を感じる風が吹いているでしょうか。初めての「やまびこ会」への参加。母子ともに緊張していました。私自身がパニック症を患っていたため、参加する勇気が今まで持てませんでした。でも、今年は「行けるかも!!」と一歩前進することができました。会場に到着すると、なぜか心が落ち着きました。それは、「私たちがだけじゃない」といった、同士の想いを勝手に抱いていました。初めましてなのに、初めましてではない不思議な感情。日頃、隠していた感情を、この場では、素直に出せる、と。皆さんが明るく気さくに話してくださり、とても素敵な方々と同じ時間を共に過ごせたことに心から感謝しています。この様な機会をいただけたこと、事前の準備や当日の運営等、

育英会の皆さまへも心から感謝しております。

2日目のデイズニー。体力不足の母ちゃんは、入園早々にバテてしまいました。子どもには申し訳なかつたと一人反省会。体力づくりに励もうと目標ができました。次はおもいっきり楽しむ!! その頃には、子どもは友人や恋人と行くようになるのかしら。それも幸せな成長だな、と青空を見上げながらペンを走らせています。

育英会の皆さま、今回出逢えたご家族の皆さまのご健康と笑顔あふれる日々を祈っております。



## 全国の仲間と繋がられて

平成二十六年二月、突然夫が他界してしまいました。夫がいない世界など想像もしていませんでした。「夢だったらしいのに」と、願っている自分がいて、夢の中にいる気分でした。子ども達も、お父さんがいる毎日が当たり前だと思っていました。

当時中学一年生だった長男も無事に社会人となり、「人の役に立てる仕事をしたい」と、理学療法士三年目を迎えることができました。

次男は警察官になり、たくさんの仲間を守られて充実した毎日を過ごしています。三番目の長女は、高校三年生になり、女性警察官になれるよう頑張っています。子ども達が、それぞれ夢を見つけ、実現できましたのも、子ども達に寄り添い、応援して下さる皆様がいって下さったおかげです。感謝してもしきれません。

そして、「やまびこ会」に参加させて頂けたおかげで全国の仲間と繋がることができました。「一人じゃない」と、心強くなれました。

私たち家族に寄り添い、励まして下さる皆様方に、笑顔の姿が見せられます様、毎日を楽しんで過ごしていきたいと思えます。



拝啓

「さまさまの事思い出すさくらかな」

芭蕉

此の度の九十八号も春らしい優しい色合いに猫ちゃんの愛らしさを加えほっとさせる温もりを添えて思わず手に取りたくなるような表紙に紐解けば、どの頁にも元氣付けられる内容で見事な仕上がりになっております。正に今話題のWBCで健闘された選手たちのようです。

巻頭の柔やかな尾内正道様の明るい笑顔に始まり、どの頁を繰りましても隅々まで細やかなお心配りで暗くならないようにセンスのあるデザインが行き届いています。文章のみならず飽きさせないというあたたかい編集者の方々の御配慮で余白さえも楽しいです。深く深く感じ入りました。

五輪への夢に向って休む間もない程の厳しい毎日乍ら明るく頑張って精進されている古賀颯人選手の手紙も、「エリーゼのために」という大好きなピアノ曲を見つけて生き生きとピアノに頑張るって向って進まれる さんも、「ぼくのペット」のモフモフィンコ君が御自慢の さんも、可愛がってられるお気持ち上手に言葉で表現されてインコ君に会いたくなりました。

大学受験合格の さん、お目出度うございます。夢がかなって読み手の私まで嬉しくなりました。

父親のいない時から月日が経って自然に漸く語れるようになられた さんも、十年過ぎて必要に迫られて頑張っていた自動車の運転が気が付けばすっかり上達され自然になつてらしたお母さん、良かったですね。

皆々様、大変なご苦労の中から一步一步立ち上られ遅くなられた今、先ず今迄差し伸べられた周りの御親切なあたたかい支援の手に感謝と御礼をお伝えしたいと文章に綴られた由、どの言葉にも真実があり美しい文章という心象を受けます。有難うございました。

私もまた執筆された皆々様から前に歩む力を与えられました。心より御礼を申し上げます。

今暫くの花見時をお健やかでお揃いでお楽しみになられますよう祈りつつ取り急ぎ御礼の要用迄申し上げます。

令和五年三月吉日

かしこ  
頓首





# 競輪の補助事業

※公益財団法人警察育英会の学資金、学用品代は競輪公益資金の補助を受けています。

公益財団法人警察育英会は、個人情報に関する法令の遵守とプライバシーの尊重に配慮しています。

## 原稿を募集しています

皆様からのお便りをお待ちしています。  
お寄せくださった方には、クオカードを差し上げます。

## 編 集 後 記

～「やまびこ会」交流会を再開～

警察育英会の奨学生と保護者の皆様には、夏休みの楽しい思い出のひとつとなって頂けましたでしょうか。コロナがやっと落ち着いて、4年ぶりに「やまびこ会」交流会を8月3日、4日に開催することができました。今年の関東地方は、7月中旬から記録的な暑さとなり、交流会の当日も猛暑でしたが、皆様のご協力により、ほぼ予定どおり進めることができ、事務局一同、安堵しております。

初日は品川駅近くの会議室に、14家庭39名の皆様にお集まり頂き、昼食・歓迎式の後に、水族館に向けて出発。マリンプルーの館内で繰り広げられた「ドルフィンパフォーマンス」では、イルカたちの高いジャンプと水しぶきに歓声があがっていました。

次に、バスの車窓から名所・旧跡等を巡った後、保護者の皆様は、皇居近くのホテルでのお茶会で、お子様（奨学生）の成長ぶり等の話題で盛り上がり頂きました。一方、奨学生の皆様は、北の丸公園内にある科学技術館を見学。体験型の様々な展示物を積極的に触ったり、動かしたりして、奨学生の関心の高さをうかがうことができました。

その後、レインボーブリッジを経て夕刻に到着した舞浜のホテルでは、まず、笑顔いっぱいの記念撮影。夕食会ではごちそうに舌鼓を打ちながら、ビンゴゲームで大いに盛り上がり、さらに交流を深めることができました。

二日目は、皆様が楽しみにしていたディズニーランドとディズニーシーに分かれての研修。夢のあるアトラクションやエンターテイメント等が好評でした。

早速、皆様から交流会でのエピソードや感想等を頂き、ありがとうございました。

最後になりましたが、交流会の実施に際して、ご支援・ご協力を頂いた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

公益財団法人警察育英会 事務局次長 宮沢 豊

お問合先

公益財団法人 警察育英会

〒102-0075 東京都千代田区三番町6番8 TEL.03-5213-8417 FAX.03-5213-8418

ホームページアドレス <https://www.keisatsuikueikai.or.jp/>

電子メールアドレス [info@keisatsuikueikai.or.jp](mailto:info@keisatsuikueikai.or.jp)



Vol. 21 <sup>げんぱく</sup>原爆ドーム — <sup>うった</sup>世界平和を訴える <sup>けんざうぶつ</sup>歴史的建造物—



原爆ドーム



原爆の子の像



平和の鐘



原爆死没者慰霊碑  
広島県広島市の広島平和記念公園内に設置されている慰霊碑。公式名称は広島平和都市記念碑



広島平和記念資料館

1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分、広島市に人類史上初めて原子爆弾が投下されました。

原子爆弾は、市街地中心部の上空約600mで爆発。爆風と高温の熱線、放射線などで多くの人々の命が奪われました。原爆ドームは、爆心地からわずか約160mの場所にあったため、大破し、全焼しました。元々は、県産物を販売したり美術展を開催したりする広島県物産陳列館（後に広島県産業奨励館に改称）でした。原爆ドームと呼ばれるようになったのは、

むき出しになった建物の頂上にある鉄骨の形が由来だそうです。

1996年には世界で初めて使われた核兵器、そして戦争の恐ろしさを象徴する建物としてユネスコの世界遺産に登録されました。原爆ドームがある広島平和記念公園には、核兵器の恐ろしさやその非人道性を伝える「広島平和記念資料館」、原爆が投下された時刻に毎年鳴らされる「平和の鐘」、命を落とした子どもたちを追悼する「原爆の子の像」などがあります。

原爆ドームはもちろん、公園一体が訪れる人々に平和の大切さを訴える場所となっているのです。